

# 調布まち会だより

No.8  
2002冬号

ネコ



もえ

発行：特定非営利活動法人調布まちづくりの会 郵便振込口座：00150-1-136749  
〒182-0024 東京都調布市布田1-49-8 飯寄ビル302 /TEL&FAX: 0424-88-4022  
http://www.fukuda.is.uec.ac.jp/cmn/index.htm /mail:machikai@fukuda.is.uec.ac.jp

## 「景観」の視点で、まちづくりを考えた

● ● ● 2001.11.10 (土) 市民シンポジウム開催 ● ● ●

**ま** ちの景観・景色は人々の暮らしとともに、日々刻々と変化していきます。調布の景観ときいてあなたは何を想うかべますか？

2001年11月10日、調布市文化会館たづくり12F大会議場において、特定非営利活動法人調布まちづくりの会の主催で、「みんなのワークショップ2001秋、“景観からのまちづくり・市民シンポジウム”」を開催しました。2000年の景観ワークショップ、2001年の景観コン

テストに続いて、今回は実際にまちづくりに直接かかわる仕事や市民活動をされている方々を招き、市民と事業者のまちづくり・景観とのかわり方など、日頃のまちづくりへの思いが語られました。会場からの質問を交え、具体的な事例の映像を見ながら興味深い話し合いが行なわれました。調布のまちづくりを「景観」の視点で考える良い機会となりました。詳細を2～5ページに掲載しています。



## 調布のよいところ景観コンテスト好評開催！！

9/2-9/4 たづくり10階みんなの広場に作品展示

『調布の良いところ景観コンテスト』の開催は、まちづくりの会としては始めてで、作品募集準備展示、調布ゆかりのユニークな副賞選びなど、まち会一丸となつてとりくみ

ました。作品の受け付け場所に「ちょうふだぞう」をおかりし、老若男女35人から54作品の応募がありました。また後援や賞の提供など多くの方々のご協力を頂きました。

9/4の受賞式では各審査員から講評を頂き、「力作ぞろいで各賞の選考はむずかしかった」との感想がのべられました。応募された方全員にささやかながら参加賞をお渡ししました。

### 受賞作品とユニークな副賞をご紹介します

- |             |               |                  |                 |
|-------------|---------------|------------------|-----------------|
| ・調布まちづくりの会賞 | = 千ひろのラーメン券   | ・梅原幸雄賞           | = 調布産ぶどうお届け     |
| ・市民が選んだで賞   | = 深大寺のそば新製品   | ・市川明寛賞           | = みさとや利用券       |
| ・前野まさる賞     | = 地場野菜セットお届け  | ・福田豊賞            | = ひのき産業花かご      |
| ・ほのぼの賞      | = FC東京自由席券    | ・調布まちづくり市民フォーラム賞 | = ニバック逸品堂銀細工商品券 |
| ・国際交流協会賞    | = クッキングハウス食事券 |                  |                 |

—各賞の受賞作品タイトル・お名前などについては、6ページをご参照ください

11/10 みんなのワークショップ2001秋  
 “景観からのまちづくり・市民シンポジウム”  
 主催：NPO法人調布まちづくりの会

調布まちづくりの会では、これまで、「景観からのまちづくり」として、ここ2・3年来、まち歩き・シンポ・などを行ってきました。前回のワークショップでは、町歩きの後、役割を仮定（ロールプレイング）して話し合いました。ビルオーナー、土地オーナー、看板業者などに、なかなかきれいなところがありました。今回は実際に仕事をされている方に生の声を聞かせていただきました。

## パート

【コーディネーター】調布まちづくりの会の大和田です。きょうのシンポは、まちの景観をつくっていく主体の方たち、市民サイドでありながら土地を持っているビルオーナーなど、直接景観づくりをされている方々のリレートークという形です。そして来年の景観ガイドライン作りにつなげていきたいと思ひます。

「お米館」は京王線の線路からよく見え、調布の顔のひとつになっているお店のデザインですが、設計の時の主旨、コンセプトは何でしょうか？

【秋沢淳雄さん】「お米館」は12年くらい前（平成2年）に建築しました。商店街でない場所なので当初はショールームにしていました。米屋はきたない、ぬか臭いイメージでしたが、米は日本の文化、日本人には切っても切れないものと認識していますので、「若い女性が結婚しても来てくれる店」をコンセプトにしました。

看板など色づかいに工夫されていますね。

【秋沢】みどりと暖かさをイメージしてお米館は緑色とブルー、華飯（おむすびや）はエンジ色をベースにしました。入口を2つにし別々に営業出来るようにしています。

次に下石原3丁目です。やっておられる花いっぱい運動についてご紹介ください。

【石原昌子さん】いつも通る品川道の植え込みにごみが捨てられていたので、有志でごみ拾いを始めました。ごみ拾いは一時的なものなので、植え込みが痛んで空き地状態になっている所に花を植えたらいいと思ひ、「99年6月の世界環境デーを機に決意し、『花いっぱい運動』を市に申請しました。緑と公園課が支給してくれた300株のパンジーを、大人と子ども男女20人で植えました。花数が多くて見栄えがよく、やって良



石原さん（左） 秋沢さん（右）

かったと思っています。グループで月1回の手入をしています。水運び、草刈など自宅から遠いので大変です。

300メートルくらいの範囲とのことです。ネガティブな声はありますか？

【石原】幅75cmで1m~4mの箇所、全体で20m程です。緑地帯の木々があるのだからよけいなことをする、といわれたこともあります。花ばかりではなく一定の間隔で花の所緑の所となっている方が理解されるだろうと思ひます。私も枯れた緑地帯を見かねてやっているとあります。

小川さんは店舗とマンションが入ったビルをお建てになり、1階でコーヒー屋さんを経営なさっていますね。

【小川芳男さん】布田駅から近い旧甲州街道のステックスというビルです。「南蛮屋」というコーヒー豆・紅茶屋をやっています。長く調布に住んでいます。私の祖母が4歳でなくなったときに地域医療というものを考えさせられ、「体のケア・心のケア」をこのビルのコンセプトとしました。テナントとして入ってもらう人に地域とのかかわりを意識してもらおうと思ひ、20人くらいの中からN医院とA歯科に入ってもらいました。異業種による「人のつながり」で、またその人たちが考える方向に町が形成されていくものと考えているので、地域の人とのかかわりを大切にしたいと思ひます。

そういう考え方がお店ににじみ出ていると思うが、都市計画や建築のルール・規制はうざったいものなのか、あるいはあった方がいいものか、どう思ひますか？

【小川】課せられるのは抵抗感あるが、自分たちでルールを作っていくならば良いと思ひます。難しいが、商店の希望などを出し合っていく中で、自然発生的なルールが出てくれば納得いくと思ひます。一方的な押し付けはいやだろうと思ひます。中国からの旅行の人に、旧道路に「何で植物が無いの」と言われたが、「街路灯にみどりの鉢を2つずつ下げていくなど方法はあるなあ」と思ひました。

規制が手段として出てくればOKですね。30数年調布市に勤めている綱島さん、調布はずいぶん変わったのでしょうか？

【綱島功さん】昭和38年当時は調布駅から品川通まで桑畑が続いており道幅4メートルで夜は真っ暗でした。市域のほとんどが畑や水田で、野川や仙川などの中小河川の護岸も自然のまま、若宮八幡そばの宮下橋や染地の羽毛下も野菜の洗い場だった。やがて団地の造成が始まり、当時工場地帯



網島さん（左），小川さん（右）

だった多摩川・柴崎・調布ヶ丘が住宅地になっていき、様変わりしました。

30年代の新聞記事に「元々200平米はあった宅地の敷地面積が最近では150平米に下がった」とありますが、宅地の密度が上がったことについて、どうお考えですか。

【網島】旧甲州街道沿いの店については、間口が狭くて南北に長い店構えで隣家との空間をとることも出来ない状態。共同ビルができれば、容積率を上げることで壁面後退も可能だし、商業的にも安全面にもよいまちになると考えています。

～きれいになってからの変化～

【秋沢】平成 年と比較すると2～3倍になったが、メッセージを伝えないといけないだろう。今米屋や八百屋さんがなくなってるが、専門店ならではの良さが地域には大切なのではないかと。全国から見学に来る人との情報交換もやっています。

どこか参考にしましたか？

【秋沢】というより、採用しなかった提案は四角い箱のような形。客から見られることを意識する店、周りへの気配が感じられる店にしたかった。南蛮屋さんも何かが伝わってくる店だと思います。ごみ・ほりかが落ちていないなども大切なことです。

花を植えて『まちが変わった』ことはありますか？

【石原】自治会の人から、「花を植えた後、ゴミがひどかったところが散らからなくなった」との声がありました。花の活動に参加してなくてもほうきとチリトリを電柱に取り付けてくれたり、花がら摘みに参加してくれる人が少し出てきました。子どもからの『こんなにきれいにしたらゴミを捨てなくなるね』の声も意味がある。こういうことは行政のやる範囲と思っていたが市民がやるべきものと感じました。人は見えることには反応していきます。店構えなどにも通じることと思います。

調布のように高い密度でペンシルビルが建ち始めると、一般的に「土地を集めて共同で建物を建ててゆとりをもたせる」といいますが、どうでしょうか？

【小川】不可能ではないがタイミングだと思います。代々伝わってきた土地への執着は大きい。人とのかかわり・信頼性があれば出来ないことは無いでしょうが利害が違うので実際には難しい事例もありました。

あるエリアをセットバック、壁の色などを変える事についてはどうでしょうか？

【小川】旧道沿いで女の子が交通事故にあったのですが建



崖線は残したい景観。カニ山と佐須の田んぼ。

物が白く景色がボケて白い車が見えにくかったらいい。実際にこのような疑問が出てくれば、自分たちの地域の問題として取り組めるだろうと思います。

【大和田】どんな工夫があるのでしょうか？

【網島】難しい問題があることは理解できますが、例えば「道路の壁面交代を一緒にやろうよ」となれば、良いまちになりお客も来るだろうと思います。

～商業地の景観～

来年につなげる意味で、商業地としての景観についてお考えがあればお聞かせ下さい。

【秋沢】一つ一つの店に活気があると、仙川のように人の流れが起きるのだと思います。5つぐらいある商店街をつないでひとつの「調布の駅前顔」になるようにしたいですね。そのためには、やはり一店一店の活気が必要なのですが・・・。

商店街をつなくという意味で『若手商人塾』がありますね。

【秋沢】私はまだ商人塾には入っていないのですが、調布駅から布田駅まで複数の商店街がありますが、横の連携が取れていないと思います。商店街の垣根を越えて、若手の店主の人たちが、まちについてメッセージを伝えて行くことが出来るようになれば良いと思います。景観については、京王線の地下化も決定し、商店街と市民とでどのようなまちが良いのか話し合っていくべきだと思います。

駅は間違いなく地下になるので、市民参加で決めていくシステムになると良いですね。

【石原】長い目で見たら、市に対して地域に共に行動できる人が出来たらいいと思います。植樹帯のあり方を見直すときに、チャンスを見逃さず提案していきたいです。

会場からの質問です。いい景観にしたいという気持ちと同じ人たちでの事例を紹介ください。

【小川】旧道沿いの店8店舗が参加して11/20から「街中アート展」をします。旧道には何かあるぞと、来て参加し遊んでもらう、ついでに買い物してもらおうというものです。気持ちが同じでも、始めるのはむずかしい。2人、3人、10人と集まって遠い目標を話し合いながら、自分のしたいこと、何が出来るのか話し合っやっていくしかないと思っています。

【網島】先ず、自分たちの町の良さを知ることが大事です。その上で行政と一体となって何かやって行く、ということではないでしょうか。

## 景観からのまちづくり市民シンポ 01...11.10

### パート

【大和田】工務店をやっておられる片平さん、施工時に現場サイドで苦勞・工夫されていることは何でしょうか。

【片平正夫さん】このお話をいただいて、これまで『景観』を考えて仕事をやっていなかったなと思いました。建物の外観の面ではハウスメーカーの家作りとわれわれが違うのは、木を使う点で、プレハブとは相当違いがある。シックハウス症候群の被害が多く出ています。メーカーも研究しているが限界があるなかで、木と人間の調和は深いものがあると考えています。目指しているのは『住んで癒される家づくり・日本の木を使った家づくり』です。杉が大根並みに値下がりしており、そういう木を使った家づくりが出来ないかと常々考えています。

皆さんご苦勞して家を買うのだが、クローン住宅も多くあり違和感があります。工務店からみてどうお考えですか？



【片平】地元の仕事が少なくなっています。大手の建物のリフォームを頼まれるが、建材の質からか全体に、カサカサしていますね。お客さんから「失敗した」という話も聴きます。職人の手間をかけると高いものにつきますが、一生のものとしてはお勧めできます。なぜプレハブとなるのかというと、大手の営業は印鑑証明や融資などいたれりつくせりで、負けてしまう。地元の工務店がどういうものか不明なこともあるだろう。消費者との接点も少なかったと思います。



嶋崎さん、調布のNO.1ゼネコンとして、調布の景観に対しての思いはありますか？

【嶋崎喜一さん】60年調布に住み建築工事の施工にかかわっています。

1984年に竣工の調布市総合体育館は周囲の緑豊かな環境に配慮した当時としては画期的な建物です。高さ制限があり、地下6m掘って4メートルくらいのところに建て、高さ10メートルに抑えました。屋根に段々型に植樹し、下から見ると斜面の緑で建物が目線に見えなくなりました。近年、学校の体育館建設など高さの制限がありますが、球技室は高さが必要なので重層的に地下を掘っていますね。

#### ～看板・広告～

昨年のシンポジウムでは、屋外広告物が一番話題になりました。昔から『看板は文化』という話もありますが、メッセージ性を出すなど変わってきていますか？

【鶴岡和三さん】2年半、布田でやっています。百店街、駅前には看板のルツボですね。業者としてはどうも出来ないです。

広告については5年くらい前から変わってきました。以前は書き屋さんだった。今ではコンピューターでビジュアルなイメージを創ることができるようになったこともあり、イメージのフィッティングもお客さんと一緒に目の前で出来るようになった。いわば依頼者と制作者が共同でイメージをつくりあげる、依頼者の想像が広告物をつくる時代です。看板業界は今後も変わっていくと思います。つくり手と依頼者が一緒に作ることで、まちの景観も創れると思います。

私は烏山（世田谷区）に住んでいますが、新しいビジネスを意識して調布を事務所を選びました。多摩川、野川、深大寺があり京王線があり新宿と八王子の中間で、イベントが開けるホテル（クレストン）も中堅企業も東京スタジアムもある調布のまちに魅力がありました。

マーケティングとして、調布市の見方が新鮮ですね。意外でした。

### 会場から -- 感想・提案 --

我が市はこのように市民が主催するところまでいっていないので感心しました。市川は学園都市で、公の空間である江戸川の斜面緑地をどうするの？ということを含め、自宅の前も公の空間として考えていこうとしているところです。廃屋を利用して町の美術館作りにもとりくんでいます。3年をかけてこれから都市計画マスタープランづくりをやっていきますので、ぜひ参考にしたいと思います。  
(市川市都市計画課Oさん)

小川さんの『気持ちと同じにする人が集まればなにかができる』という言葉に共感しました。景観では、気持ちが違う人たちの合意を図る必要がありますが、この突破口は『気持ちの同じ人が集まり』これを広げていくことだと思います。今日集まった方はみなさん同じ気持ちの方達だと思います。  
(Y・K)

調布には狸・ホテルなど出るいい所にマンションが次々建設されることについ

て、国分寺崖線がお好きな片平さんどう思われますか。

国分寺崖線の大半は私有地です。最近崖線を利用して地下室マンションがたたられ景観が変りつつあります。今ある森はどうすれば守れると思いますか？(K・T)

依頼主の希望が景観上チョットどうかと思う内容の場合、どのように対応されているのでしょうか？(O・M)



鶴岡さん(左), 片平さん(右)

景観からのまちづくり  
市民シンポ 01..11.10

～ 景観の枠～

ガイドラインのような景観の枠を創ることについてはどうでしょうか? 工務店としては職人気質と施主の意向との間でラブルになることはあるでしょうか。

【片平】やはり3か月～1年くらい施主との打ち合わせが必要ですね。景観との調和については、屋根の塗り変えなどは、一般には黒のイメージだが鮮やかなピンクの家があり『これはないだろう』と思ったが最近は見慣れた。壁の色など隣家の色との調和で無難な方をすすめてしまうが、施主の「俺の家はいいな」という思いも大切。個性を建物にどう生かすかを考えると、規制ではなく住民の声が取り入れられることが必要かなと思います。

景観を厳しくせず、自由にした方がよいでしょうか?

【嶋崎】壁面線・高さをそろえるなど、市街地についてはある程度考えた方が良くないかなと思います。外壁の色はマンションはシリーズでスタイル・色が決まっています制限しきれないのではないかとおもいます。電柱と電線については色々出来ると思います。市長の公約で電柱の無い町があります。共同溝などで地下ケーブルにすると景観はすっきりします。旧甲州街道は歩道がすれ違えない状態であり、電柱を立てておく必要はないと思います。

【鶴岡】「広告」は、人と違うこと目立つことをしたがる面があ

ります。

会場から、調布南口通りなどで「まち並み全体でイメージを統一した看板」の可能性について質問です。

【鶴岡】秩父市では商店街のシャッターにマーキングして、秩父から見た山・荒川など風景を描いています。那須の看板はブラウウでウッディー調に決まっています。調布でも出来ると思うが、みなさんの力が必要ですね。看板は普通は分業が多いのですが、うちの店ではワークスペースをつくり、お客さんと一緒にオペレーターとやり取りして最終商品まで仕上げます。お客様に自由に見てもらえるようにショールームに商品を展示しています。自転車サークルなど小さなグループのステッカーもつくっています。

～ 屋上緑化～

屋上緑化について質問がきています。小川さんのビルで屋上緑化をしているそうですね。

【小川】少しでも緑を増やし自分も土に親しみたいとの想いで、屋上に『東京土太郎』という土で畑をつくり、野菜を育てています。父母が住んでいる5階の上階になるのですが、夏冬の温度差が少ないという利点もありました。

時間になりました。現場からの貴重なお話を伺うことができました。今日の話合いで出されたことを来年度に生かしていきたいと思います。ありがとうございました。(おわり)

会場から -- 感想・提案 --

鶴岡さんが、いいものをつくるには客と職人が「一緒につくる」のが重要といわれましたが同感です。景観を考えると、地域や市民・業者と一緒にすることが重要と考えます。「一緒につくる」上での重要なポイントを経験を踏まえアドバイス下さい。(Y・K)

景観の話と風景の話が同居して、少し話がかみ合わないように感じます。景観からのまちづくりを考える場合「開発型」の視点と「修復型」の視点とに

整理してみたらどうでしょうか?(F・K 世田谷NPO会員)

提案です。私は環境色彩・商品色彩・ファッション色彩などのカラーコーディネートを専門学校などで教えていますが、調布市民および商店街店主など、視覚的に大きな影響を及ぼす色彩のこと・それをいかに建築・インテリア・景観に活用していけばよいかを、専門家を招いたりして学ぶことが一番の近道だと思います。(I・S)



調布の街の空。にぎやかというよりも目にウルサイ(仙川商店街)

# ま ち づ くり 交 差 点

ここでは市内でおこるまちづくりの動きを紹介します。皆さまからの情報をお待ちしています。

## 2001・9・4 調布の良いところ景観コンテスト 受賞作品をご紹介します

審査員賞名	「作品タイトル」	お名前
・調布まちづくりの会賞	「芽吹き」他2点(写真)	松野光雄さん(多摩川)
・前野まさる賞	「大好きな私の住む街飛田給」(写真文)	新井昭子さん(飛田給)
・ほのぼの賞	「はらっぱ」(写真)	八木達郎さん(染地)
・国際交流協会賞	「深大寺深沙堂」(写真)	岩名亜佐子さん(調布ヶ丘)
・梅原賞	「芽吹く野川の柳」他2点(水彩)	森郁造さん(佐須)
・市川明廣賞	「調布の空と花」(絵)	鉄矢萌絵さん(布田)
・福田豊賞	「緑のドーム」(写真・短歌)	石川直子さん(深大寺北)
・調布まちづくり市民フォーラム賞	「萌える」(写真)	梶浦治夫さん(富士見町)
・多摩川ネットワーク賞	「多摩川の堤から」(写真)	森尻千恵子さん(上石原)
・市民が選んだで賞	「多摩川」(写真)	小坂二男さん(東つつじヶ丘)
・市民が選んだで賞	「夏祭り」(写真)	大門容子さん(菊野台)
・市民が選んだで賞	「調布イトコ図」(絵)	鉄矢悦朗さん(布田)
・市民が選んだで賞	「芽吹き」他2点(写真)	松野光雄さん(多摩川)
・市民が選んだで賞	「緑につつまれて」(写真)	大塚誠さん(八雲台)

## 「相互塾」満2年 おめでとう

1999.3.28 - 2002.2.25まで  
25回。延べ510人が参加!!  
皆さんご協力ありがとうございます。

### 相互塾 今後の予定

- ・3/25(第26回)星と音楽のロマン / 語り手:日本天文学会会員 大成鐸夫さん
  - ・4/22(第27回)J.Cとまちづくり / 語り手:調布J.C代表 狩野明彦さん
  - ・5/27 深大寺の今昔と蕎麦談義 / 語り手:嶋田屋店主、嶋田太郎さん
- いずれも19時より調布市総合福祉センターで開催。

お問い合わせは、  
83 - 9993 森下まで。

### まち会定例会議事録より

2002.1.15 大町小学校跡地利用活用受託契約。プロジェクトチームで取組んでいます。今まで地域の方々から、色々な意見がでてきます。市民の立場にたった有効利用の方策を皆さまと考えていきたいと思えます。

来年度、新たに情報バリアフリー、21世紀の都市モビリティなどの事業を考えていきます。

3月末日で切れるボランティア保険(団体)契約の更新手続きをお願いします。年間500円です。

### < 会員紹介コーナー >

#### 私がまち会でやってみたいこと・・・

【新会員】\* 虎尾武志 / 75歳にして昨年秋から新入会しました。入会の動機は、「調和小学校」の廃校後、どのような利用がなされ様としているのか、それが今後の「老々介護」と関連してどのように将来進んでいくのか関心を持っております。右脳が刺激され老化防止に非常に有意義と思っております。

【新会員】\* 干場まち子 / 「うたごえ」を企画したい。宜しく御願ひ致します。

\* 大久保喜正 / 今年も楽しく面白いことをやっていきたい。昨年は市役所・市民の方々とすこしずつ知り合うことが出来、ネットワークが築かれつつある。それをより推進していきたい。収益事業の可能性を探ってみたい。

\* 大脇正昭 / 昨年度末から懸案となっていた、私が主宰する障害者コミュニケーション・サポート活動「Communication Port」の活動を、まち会の活動のひとつに位置づけ広い意味で「情報バリアフリー部会」としたいです。

まち会定例会 4/3(水), 5/1(水), 6/5(水)

19:00 ~ 21:00 総合福祉センター 団体室

### 会員募集中!!

#### 入会申し込み

調布まちづくりの会に入会ご希望の方は、お手数ですが郵便振込みでお願いします。会費は年2000円です。

郵便振込口座加入者名 調布まちづくりの会

00150 - 1 - 136749

【編集後記】随分ご無沙汰になってしまいました。みなさまおげんきですか?まち会メンバーはいつも多忙のようで、それゆえか原稿があつまらなかった・・・とはいいわけか?『まち会はどんな人のあつまりなの?』という声にお答えして、顔の見えるまち会だよりを目指し「会員紹介コーナー」をもうけました。順次皆さんに登場していただこうと思っています。おたのしみに。ちなみに私は水と緑と地下水にこだわって活動をつづけているひとです。野川や雑木林などのフィールドでおあいするかもしれません。お声をかけて下さい。(江刺益子)